

サステナビリティレポート 2025

Sustainability Report 2025

CHANGE to ADVANCE

— 変わる —

ENVIPRO GROUP

INTRODUCTION

社会が急速に変化するなか、エンビプログループは自ら「変わる」ことを選び、未来へ向けた体制へ進化します。全社員が従来の枠を超えた発想で行動し、主体性と創造性を発揮できる環境づくりを通じて、新たな企業価値の創造に「変わる」力で挑んでまいります。

その変革をさらに加速させる起点となるのが、新たな社長への交代です。重要戦略事業の推進と既存事業の深化・深堀を進め、社会課題の解決に貢献しながら、企業価値の長期的向上を実現していきます。今後とも、当社の「変わる」挑戦に、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ENVIPRO GROUP

CONTENTS

01	イントロダクション	46	ESGの取り組み
02	目次・編集方針	47	環境
03	Our Concept	47	SDGs達成に向けた様々な取り組み
05	エンビプログループのあゆみ	49	TCFD提言に沿った情報開示
07	トップメッセージ	52	2030年までに再生可能エネルギー100%に
14	ミッション実現のためのマテリアリティ (重要課題)	53	マテリアルバランス
17	価値創造プロセス	54	社会
18	今後の経営方針について	57	実現する組織イメージは、“創発的能力を備えた自律した個人の規律ある集団”
27	エンビプログループの事業	60	エンビプログループの環境安全活動
28	事業の全体像	63	地域共生活動
30	資源循環事業	63	ガバナンス
35	グローバルトレーディング事業	63	社外取締役対談
39	リチウムイオン電池リサイクル事業	67	コーポレート・ガバナンスの変遷 体制図
42	障がい福祉サービス事業	72	データセクション
44	環境経営コンサルティング事業		

●**編集方針**／本レポートは、(株)エンビプロ・ホールディングスが発行するサステナビリティレポートです。エンビプログループの企業理念や、事業戦略・ESGなどに関する非財務情報全般にわたる取り組みをご紹介します。さらに、今後の計画を含む将来の見通しについても一部ご紹介しています。

●**報告対象範囲**／(株)エンビプロ・ホールディングスと以下グループ会社9社を報告対象としています。(株)エコネコル、(株)NEWSCON、(株)サイテラス、(株)アストコ、日東化工(株)、(株)ブライトイノベーション、(株)VOLTA、(株)エコデモ、(株)J-Cycle

●**報告期間**／2024年7月～2025年6月(活動内容、計画については、一部それ以降も含まれます)

持続可能社会 実現の一翼を担う

ENVIPRO GROUP OUR CONCEPT

ミッションステートメント

MISSION STATEMENT

企業理念

CORPORATE PHILOSOPHY

創業企業 そうぎょうきぎょう

□ つねに社会にとって必要な事業を創造しつづける

日々創業 … 初心を大切に日々創業精神で仕事をする

歴代創業 … 代々初代の志を持って新事業を創造する

全員創業 … 全社員が自分に合う第一人者の道を拓く

循環企業 じゅんかんきぎょう

□ 助け合い、活かし合い、分かち合う喜びの環を回しつづける

快労 … 助け合い、補い合って気持ちよく働く

活財 … あらゆるもののいのちを活かして使い回す

還元 … 利益や喜びを共に生きる人たちと分かち合う

求道企業 ぐどうきぎょう

□ 永遠につづく企業の道、人の道を追求しつづける

選難の道 … 安易な道を選ばず求められる道を歩む

独自の道 … 特質を生かし人のやらないことをやる

感謝の道 … 生かされていることに感謝し慢心をしない

※監修 未来デザイン研究所 えにし屋 清水義晴氏 2004年3月20日制定

最も大切にする価値観でありDNA

2000年頃になると循環型社会や環境問題に関する意識の高まりから、リサイクルに対するニーズ、各種法令の整備など事業環境が大きく変化し始めました。当社グループにおいても、成長するスピードは高まり、変化の度合いは大きく、人材は増加し、地域を超えて活躍し始めました。同時に何か漠然とした不安を感じるようになり、会社が順調に発展しているにもかかわらず、これまでの長い間何かが足りないと感じ続け、探していたものを再認識しました。

木が成長し、幹は伸びますが、それを支える根を大きく張る必要があると。

表面の変化に左右されない、確固たる思想、理念が確立されていないことによるものだと強く感じ、2004年、私たちは企業理念を制定しました。

創業者の人生観、理念や口癖、幹部社員の人生観、想いなど会社に内在している考え方を紡ぎだし、約1年間かけて明文化しました。

私たちを取り巻く環境がどんなに変化しても、決して揺らぐことなく、また今後2000年間でも通用するような永続性を持ち、全ての行動の規範となる企業理念、「最も大切にする考え方」はこうして創り上げられました。



ENVIPRO GROUP

HISTORY

事業拡大への基盤

○ 1950

○ 1960

○ 1970

○ 1980

○ 1990

1950~

1950年■ 佐野勝喜(当社取締役会長 佐野富和、当社代表取締役社長 佐野文勝の実父)が佐野マルカ商店を静岡県富士宮市にて鉄スクラップ問屋として創業

1989年■ 経営計画による経営開始

1992年■ 貿易事業を開始

1997年■ 本社工場に大型シュレッダー設備を導入



大型シュレッダー設備を導入



1989年 現在の工業団地に引越し

エンビプログループのあゆみ

エンビプログループの前身は1950年3月、佐野勝喜(当社取締役会長 佐野富和、当社代表取締役社長 佐野文勝の実父)が静岡県富士宮市に鉄スクラップ問屋として佐野マルカ商店を創業したことに始まります。

創業から金属リサイクルを強みにグループ展開を広げてきましたが、近年ではサーキュラーエコノミーを具体的に実現するため新規事業にも多く挑戦しています。



閉鎖した鑄造所の競売物件を一山買いた初代

次々と広がるグループ展開

2000~

○ 2000

2000年■ (株)富士通ゼネラル(現:(株)ゼネラル)との合併により(株)富士エコサイクルを設立

2003年■ (株)ユー・エス・エスとの合併により(株)アビツを設立

2004年■ 企業理念を制定

- ASR(自動車シュレッダーダスト)の再資源化施設として自動車リサイクル法大臣認定を取得

2006年■ 中古自動車および中古自動車部品輸出事業を目的に(株)3WMを設立

2008年■ 資源リサイクル事業を行う(株)クロダリサイクル(現:(株)エコネコル函館支社)の株式を取得し子会社とする

- 3WM CHILE IMPORT EXPORT LIMITADA(チリ)設立

2010~

2010年 ■ (株)エコネコル・ホールディングス(現:(株)エンビプロ・ホールディングス)を設立

2011年 ■ 資源リサイクル事業を行う(有)リサイクルサポートサービス(現:(株)エコネコル松本支社)の株式を取得し子会社とする

2013年 ■ 東京証券取引所市場第二部に株式上場

- 障がい福祉サービスを目的として(株)エコミット(現:(株)アストコ)を設立

2015年 ■ 廃ゴムリサイクルおよびゴム製品製造販売事業を行う(株)東洋ゴムチップ(現:日東化工(株))の株式を取得し子会社とする



エンビプロ・ホールディングス設立そして上場

○ 2010

2016~

2016年 ■ 環境経営コンサルティング事業を展開することを目的として(株)ブライトイノベーションを設立

2018年 ■ リチウムイオン電池リサイクル事業を目的として(株)VOLTAを設立

- 東京証券取引所市場第一部に株式上場
- RE100に加盟

2019年 ■ TCFD提言に賛同

2020年 ■ (株)エコネコルの貿易事業を承継し(株)NEWSCONを設立

2021年 ■ 木材リサイクルを行う富士見BMS(株)(現:(株)エコネコル ウッドリサイクルセンター)の株式を取得し当社孫会社とする

2022年 ■ (株)エコネコルが富士見BMS(株)を吸収合併

- 東京証券取引所プライム市場へ移行
- (株)3WMの物流代行事業を承継し(株)サイテラスを設立

2023年 ■ 工業用ゴム製品や樹脂製品等の製造販売事業を行う日東化工(株)の株式を取得し子会社とする

2024年 ■ 解体工事業の強化を目的に当社孫会社(株)エコデモを設立

- (株)VOLTAにて(株)J-Cycleを設立
- (株)エコネコルが(株)クロダリサイクルおよび(株)しんえこを吸収合併
- 日東化工(株)が(株)東洋ゴムチップを吸収合併
- (株)J-Cycleが(株)VOLTA、Miracle Eternal PTE LTD.及び三井物産(株)を引受先とする第三者割当増資を実施

2025年 ■ 東京証券取引所スタンダード市場に株式を上場

新たなビジネスへの挑戦

○ 2016

○ 2020

○ 2025

CHANGE to ADVANCE



東京証券取引所スタンダード市場上場▶